

— 新競馬場デザインコンセプト —

※外観イメージは今後の検討により変更となる可能性があります。



01_ 臨場感あふれるレース観戦のための工夫
コンパクトで臨場感のある競馬場

- A 間口が長く、奥行きの短いスタンド棟**
 - ・ゴール前の観客席を最大限確保し、競馬の醍醐味が体感できるスタンドとします。コースとパドックの双方に近いコンパクトなスタンド棟により、コースとパドックの移動距離を最小化します。
- B パドックテラス**
 - ・スタンド棟2階テラスからもパドックを見ることができるよう計画します。
- C ホースビューコリドー**
 - ・レース目の騎手と馬の緊張感を直接感じられる屋内馬道を計画します。
- D 大型映像の迫力**
 - ・大型映像装置の迫力を体験できるよう、スタンドの正面に配置します。

02_ 新たなファンを獲得し、集客力を高めるための工夫
公園のような競馬場

- E 多様なイベント開催に対応した広場**
 - ・ミニチュアホース乗馬体験や地元が主催するイベントを行うことができる広場を計画します。
- F 誰もが気軽に楽しめる広場**
 - ・中高齢者、女性、家族連れ等の多様なファンが気軽に訪れたいキッズ広場・多目的広場を計画します。
- G ユニバーサルデザインの配慮**
 - ・男女年齢層問わず利用できるよう、バリアフリーに配慮した計画とします。パウダールームや授乳室の設置など、女性や家族連れも気軽に訪れやすい計画とします。

03_ 柔軟性・持続性を高めるための工夫
柔軟性と持続性の高い競馬場

- H 柔軟性の高いファンエリア**
 - ・ファンエリアを1階と2階に明確にセキュリティ区分することで、レースの非開催時は1階のみ開放するなど、様々な利用形態に柔軟に対応します。
- I 環境にやさしい競馬場**
 - ・自然エネルギーを有効活用した様々な環境負荷低減手法を採用することで、環境にやさしい持続可能な競馬場をつくります。
- J 競馬関連施設の総合的な計画**
 - ・競馬運営に必要な付属施設は、既存施設を最大限利用し、効率的な競馬運営が可能となるよう一体的に計画します。